

# 淀川集じん装置付 バフグラインダ

## FBシリーズ

### 取扱説明書



TYPE FB

株式会社 淀川電機製作所

No. T52112



# 目次

---

はじめに .....	3
安全上のご注意 .....	3
▲警告 .....	4
▲重大警告 .....	6
▲Warning .....	7
▲注意 .....	7
1. 概要 .....	8
(1)現品の確認 .....	8
(2)主な用途 .....	8
(3)主な仕様 .....	8
(4)外形寸法図 .....	9
2. 据え付け .....	10
(1)設置場所 .....	10
(2)設置方法 .....	10
(3)電源の配線 .....	10
(4)アースの取り付け .....	11
(5)回転方向の確認 .....	11
(6)スパークブレーカーの取り付け .....	12
3. 構成部品および機能 .....	13
(1)各部の名称 .....	13
4. 運転およびバフの取り付け(交換) .....	18
4-1.バフの取り付け(交換) .....	18
(1)バフの適合確認 .....	18
(2)バフの取り付け .....	18
(3)試運転 .....	20
4-2.運転 .....	21
4-3.スイッチについて .....	22
4-4.運転の条件 .....	22
4-5.異常な場合の処理 .....	23
5. 保守・点検 .....	24
5-1. 日常の手入れ .....	24
(1)シェイキング .....	24
(2)粉じんの処理 .....	24
5-2. フィルターの交換 .....	25
(1)フィルター .....	25
(2)後部フィルター .....	26

## 目次

---

5-3. シェイキングチップの交換.....	27
5-4. 集じんカバーの取り外し.....	28
5-5. 集じんボックスの点検.....	29
5-6. 外装部のお手入れ.....	29
5-7. 定期的な点検.....	30
(1)装置本体.....	30
(2)パフグラインダ部.....	30
(3)集じん装置部.....	31
6. 保証規定について.....	32

### - ご注意 -

- (1)取扱説明書の内容の一部または全部を無断で転載・複写することは禁止されています。
- (2)取扱説明書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
- (3)取扱説明書の内容につきましてご質問がおありの場合は、お買い上げの販売店または、弊社営業所までご遠慮なくお問い合わせください。

## はじめに

---

この度は、淀川電機の集じん装置付バフグライндаをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、集じん装置付バフグライндаを安全にご使用頂くためのものです。

この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で実際にご使用くださいますようお願い致します。

また、常にこの取扱説明書をお手元に置かれることをお奨め致します。

この取扱説明書の主な内容は、

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| 1. 概要        | 4. 運転およびバフの取り付け(交換) |
| 2. 据え付け      | 5. 保守・点検            |
| 3. 構成部品および機能 | 6. 保証規定について         |

からなっています。

集じん装置付バフグライндаの設計内容に関する研究改良の結果、この取扱説明書の内容の中に、お買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。

お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきましてご質問がおありの場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書の裏表紙に記載している弊社営業所までご遠慮なくお問い合わせください。

損傷や紛失などにより、取扱説明書を注文される場合または、製品に取り付けている銘板、警告ラベル等がかすれたり破損したりした場合は、取扱説明書の裏表紙に記載している弊社営業所まで発注してください。

## 安全上のご注意

---

集じん装置付バフグライндаを安全にご使用頂くには、正しい操作と定期的な保守が不可欠です。この取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまでは運転を行なわないでください。

保守・点検作業は安全に関する注意事項を十分理解のうえ行なってください。バフグライндаの知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。

この取扱説明書に示されている操作方法および安全に関する注意事項は、集じん装置付バフグライндаを所定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。

この取扱説明書に書かれていない使用方法を行う場合に必要な安全に対する配慮は、すべてお客様(貴社)の責任のもとで行なっていただくか、あるいは弊社まで必ず問い合わせのうえ使用してください。

この取扱説明書では、お守り頂かないと人身の危険につながる恐れのある注意事項は「▲警告」という見出しの下に掲げております。

また、お守り頂かないと製品、設備などの損傷につながる恐れのある注意事項は「▲注意」という見出しに掲げております。そして、製品の保護上、操作上の確認事項は「注記」という見出しの後に掲げております。なお、「▲注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

## ▲ 警 告

- ◇ 感電事故に注意してください。
  - 結線またはその他電源にかかわる作業時には、必ず電源を切り、誤って元電源が入れられぬよう元電源に「投入禁止」の札を付け、元電源の管理をしてください。
  - アース(接地)を必ず取り付けてください。
- ◇ 回転方向の確認を行ってください。(三相タイプのみ)
  - 逆回転のままですと締め付けナットが緩み危険です。(正回転ではナットが締まるようになっています。)
  - 回転方向の確認には指や物での接触による確認は危険ですので絶対行わないでください。
- ◇ サーマルプロテクターが内蔵されている機種については次の点を注意ください。
  - サーマルプロテクターはモータが過負荷状態になった時に自動的に運転を停止させますが、自動復帰型ですのでスイッチ(電源)が入ったままですと運転が自動的に再開されますから、サーマルプロテクターが作動し運転が停止した時には、必ずスイッチ(電源)を切ってください。
- ◇ 構成部品の取り外しや改造は行わないでください。
  - 製品は安全面、性能面での基準の下で製作しておりますので取り外しや改造は危険です。
- ◇ インバータによる増速運転は行わないでください。
  - モータが過負荷になることのほかに増速による回転体などの強度面で危険性が生じます。
- ◇ バフを手で回転させる時は、バフの外周部を手で回さないでください。
  - バフの外周部を手で回すと、手や指をスパークブレーカー・集じんカバー等にはさむ恐れがあります。
- ◇ フランジは締め過ぎないでください。
  - 締め過ぎによるバフの破損等も起こりますので注意してください。
- ◇ 保守・点検およびパーツ等取り替え作業時には必ずスイッチ(電源)及び元電源を切ってください。又、誤って電源が投入されないように元電源の管理には十分注意を払ってください。
  - 回転体の回転が完全に停止したことを確認してください。また、作業中にスイッチが入ることのないようスイッチの管理に十分注意してください。
  - 回転体を手や手に持った物で止めないでください。
- ◇ 粉じんはためておかず早めの処理を行ってください。
  - すべての粉じんについて、粒径、濃度、その他の条件により粉じんの燃焼、爆発の危険がありますことをご承知ください。
- ◇ 無理な分解・組立ては行わないでください。
  - 異常内容によっては、お客様による対応が不可能な場合がありますので必ずお買い求めの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- ◇ 無理して使用しないでください。
  - 本機の能力に合った作業としてください。
- ◇ きちんとした服装で作業をしてください。
  - 身につけているものが、巻きこまれることのないように身だしなみを整えてください。
- ◇ 保護眼鏡を着用してください。
  - 作業時には、保護眼鏡を着用し、また粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。
- ◇ 作業前には、試運転をしてください。
  - 作業前には、1分以上の空転。またバフ交換時には、3分以上の空転を行い、異常の有無を点検してください。
- ◇ 労働安全衛生規則に定められている必要な教育を行ってください。
  - 使用者には、安全および衛生のための必要な教育を行ってください。

## ▲ 警告

---

- ◇ 加工する物をしっかり保持してください。
  - 作業中に衝撃を与えないよう、特に誤って被加工物を強く打ち当てることのないようにしてください。
- ◇ 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つよう作業姿勢の安定に注意してください。
- ◇ 損傷した部品がないか点検してください。
  - 使用前に、保護具やその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動することを確認してください。
  - 締め付け状態、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ◇ 指定の付属品や交換パーツを使用してください。
  - 代用品の使用は危険ですので、必ず指定のパーツを使用してください。
- ◇ バフの取り扱いは、次の点を注意してください。
  - バフ専用機ですので、絶対にといしを取り付けて使用しないでください。
  - バフ寸法は、仕様寸法範囲内で使用してください。
- ◇ 設置場所の周囲状況を考慮してください。
  - 腐食性ガスや可燃性・爆発性ガスを取り扱う場所では運転できません。
- ◇ 製品の重さを知ってください。
  - 設置・移動の際には指、足や身体のいかなる部分も製品の下には入れないでください。
- ◇ 構成部品の取り付け位置には十分管理を行ってください。
- ◇ バフグラインダの駆動時は、バフの飛散方向に立たないでください。
- ◇ 回転しているバフに指等を触れないでください。
  - 指等を触れることは危険ですので絶対にしないでください。
- ◇ バフは使用機械、使用目的に合ったものを使用してください。
- ◇ 火災事故防止のため火花等が発生した作業の後には必ず粉じんの確認、点検を行ってから作業の終了としてください。

## ▲ 重大警告

◇ 本機の集じん部は、研磨物から発生する粉じんを吸引させるための装置です。本機で取り扱う粉じんは、次の条件をお守りいただき、危険な粉じんを吸引する恐れがある研磨作業は行わないでください。また、可燃性雰囲気内での使用禁止。

● 火災事故防止のため、火気および爆発性粉じん・含じん液体液霧は絶対に吸引しないでください。

☆ 火 の つ い た も の : タバコの吸い殻、マッチなどの火種

☆ 多量に火花を含むもの : 研削加工時に発生する多量の火花や火の粉を含む粉じん等

☆ 引 火 性 の も の : ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油等。引火点150℃以下の油や引火点150℃以下の洗浄液および引火性物質が付着混在した物質等

☆ 爆 発 性 の も の : アルミニウム、マグネシウム、チタン、エポキシ樹脂等の爆発性粉じん、爆発性物質および粒径・濃度その他の条件により粉じん爆発を起こす可能性のある粉じんや爆発性液体、液霧および爆発性物質が付着混在した物質等

☆ 可 燃 性 の も の : 可燃性粉じんや可燃性液体液霧および可燃性物質が付着混在した物質等

☆ 非 常 性 の も の : 腐蝕性物質、粘着性物質等およびそれらが付着混在する物体等、ならびに非常性のものが多く含まれる気体等

☆ 液 体 、 液 霧 状 の も の : 工作機械から発生する水分を含んだ粉塵等

● 可燃性粉じんや可燃性物質が付着した粉じんの吸引はしないでください。不燃性物質が加工等により可燃性に変化している可燃性物質は特に注意が必要です。可燃性粉じんに変化しているかどうかの判断は非常に難しく、お客様の責任において判断願います。また、可燃性粉じんと判明した場合は直ちに本機の使用を停止してください。

● 取り扱う粉じんのそれぞれがたとえ安全なものであっても粉じんが混合することにより危険な物質に変化する場合があります。混合に伴う物質の変化には特に注意が必要です。お客様の責任においてご確認願います。粉じんの混合に伴う安全性が確認出来なければ同一機での共用使用は絶対に行わないでください。それぞれの粉じんに対する専用化をお願い致します。(目的粉じんの専用機であることを明確表示してください。)尚、混合された捕集粉じんの廃棄処理については想定外の諸問題の発生も考えられますのでお客様の責任において判断願います。



## Warning

---

- ◇ Beware of electric shock.
  - Be sure to turn off the main power switch when you handle the power lines or other switches. Attach a 'Don't Turn On' tag to the main power switch so that it is not turned on by mistake. Use special care in managing the power supply.
  - Be sure to ground it.
- ◇ Verify the direction of rotation (Three-phased type)
  - Never operate the machine with the motor rotating in the reverse direction, because, if you do that, the nuts fixing the wheel will become loose, which is very dangerous. (If the motor rotates correctly, the nuts will remain securely fixed.)
  - Never touch the motor or the buff with your finger or anything else to make sure of the direction of rotation. It is very dangerous.
- ◇ Be aware of the following if your machine is equipped with the thermal-protector.
  - When the motor becomes overloaded, the thermal-protector begins working automatically and stops the operation of the machine. If the power remains on, operation will start when the thermal-protector is reset automatically. Therefore, be sure to cut off the power source right after the thermal-protector starts working and ceases the operation of the machine.
- ◇ Never remove or alter any components of the machine.
  - The components were manufactured according to the fixed standard of safety and function. Therefore never remove or alter any components of the machine because it is dangerous.
- ◇ Never increase the speed using the inverter.
  - It is dangerous because the motor will become overloaded, and the rotor may not be strong enough to withstand the high speed.
- ◇ When you rotate the buff with your hand, do not touch its circumference.
  - If you rotate it touching its circumference, you may get your fingers caught in the spark breaker or the buff cover.
- ◇ Be careful not to over-tighten the flanges.
  - Too much torque may destroy the buff.
- ◇ Be sure to turn off the switch and main power switch before you start maintenance checks or the buff replacement. Use special care in managing the power supply so that it is not turned on by mistake.
  - Make sure that the rotor has stopped rotating completely. Take sufficient care in managing the power supply so that it is not turned on by mistake during the maintenance operation.
  - Do not stop a rotor by hand or with something in your hand.
- ◇ Do not leave dust piled up. Dispose of it promptly.
  - Any dust may catch fire or explode depending on certain conditions such as the diameter or density of the dust.
- ◇ Never disassemble or assemble the unit by force.
  - Contact the manufacturer's representative from which you bought the machine or any of our sales offices because sometimes it is impossible for you to repair it on your own.

## Warning

---

- ◇ Do not put a strain on the machine.
  - Use the machine within its capacity.
- ◇ Keep your clothes tidy when you carry out an operation.
  - Make sure your clothes are tidy so that no part of your clothes might be caught.
- ◇ Wear protective glasses.
  - Be sure to wear protective glasses when you operate the machine. A dust protection mask is also necessary for operation which generates lots of dust.
- ◇ Conduct a test run before starting operation.
  - Be sure to idle the machine for more than one minute before starting operation. When you replaced the buff, idle the machine for more than three minutes in order to check whether there is any abnormality.
- ◇ Users training is required according to the Labor Safety and Hygiene Regulations.
  - Users training is necessary to ensure safety and hygiene.
- ◇ Hold whatever you are going to process tight.
  - Be careful not to shock it, and particularly, not to hit it hard by mistake.
- ◇ Be sure to maintain a stable position.
  - Stand firmly in a good position so that you can keep balance.
- ◇ Check whether there are any broken parts.
  - Before you start operation, conduct a thorough check to see if there is any damage to protective gears or other parts and also make sure that the machine works properly.
  - Make sure every part is fastened firmly and is installed securely, and whether there is anything wrong with any of the parts that are involved in the operation.
- ◇ Use the specified accessories and replacement parts.
  - Be sure to use the specified parts because using a substitute may be dangerous.
- ◇ When you use the buff, note the following points.
  - The machine is exclusively for buff operations. Never use it with a grindstone installed.
  - Be sure the buff size is within specifications.
- ◇ Consider the surroundings of the place of installation.
  - You cannot operate the machine in a place where there is corrosive, flammable, or explosive gas.
- ◇ Be aware of the weight of the machine.
  - Be careful not to put your fingers, feet, or any part of your body under the machine when setting it up or moving it.
- ◇ Be careful to install components in the correct position.
- ◇ When the buff grinder starts rotating, never stand in a direction where fragments may be scattered
- ◇ Never contact the buff with your finger while it is rotating.
  - Do not contact the buff because it is very dangerous.
- ◇ Check whether the buff fits your machine and your purpose.
- ◇ To prevent fire, after operation which generates sparks, be sure to check and confirm the situation after operating the machine as a final step.

## Special Warning

---

- The dust collector sucks in the dust generated from the material to be polished. When you use the dust collector, be sure to keep the following rules in order to prevent generating dangerous situation. And do not use this in explosion area.
  - To prevent a fire, never suck in flammable or explosive dust, or any liquid or mist which contains dust.
    - ◇ Anything burning: A butt or a matchstick.
    - ◇ Anything that contains a large amount of sparks: Dust which contains a lot of sparks generated from grinding operations.
    - ◇ Ignitable materials: Gasoline, thinner, benzene, kerosene, any other liquid that catches fire below 150°C, or any cleansing liquid that catches fire below 150°C. A material which contains ignitable substances.
    - ◇ Explosives: Explosive dust such as aluminum, magnesium, titanium, or epoxy resin. Any dust, explosive liquid or mist that may cause an explosion due to certain conditions like dust diameter or dust concentration. Any material that contains explosive substances.
    - ◇ Flammables: Flammable dust, flammable liquid or mist, or any material that contains flammable substances.
    - ◇ Extraordinary materials: Corrosive substances, adhesive substances, or other materials which contain those substances. Any gas that contains a lot of extraordinary substances.
    - ◇ Liquid or mist: dust which contains liquid released from the machine.
  - Do not suck in flammable dust or any dust containing flammable substances. Pay special attention to any flammable material which has changed from a nonflammable one due to operation. The user is responsible for judging whether the material has turned into a flammable one or not. When you find flammable dust, stop the operation immediately.
  - Even though each kind of dust is safe by itself, a dangerous substance may be generated when the dust is mixed. Pay special attention to any change in substances due to mixing. The user is responsible for checking the safety of the materials. If you are not sure whether the mixed dust is safe or not, never use the same dust collector for different kinds of dust. Please use separate dust collectors for each kind of dust. (Indicate clearly that the machine is exclusively for a particular kind of dust.) Furthermore, when you dispose of the mixed dust which was sucked and collected, be aware that an unexpected problem may occur. The user is responsible for disposing of the accumulated dust.

## ⚠ 注意

---

- ◇ 設置場所の周囲状況を考慮してください。
  - 屋内で風雨や直射日光にさらされない所としてください。
  - 水や油のかかる場所は避けてください。
  - 温度は-10℃以上40℃以下。湿度は80%以下でご使用ください。
- ◇ 作業の終了時には点検を行ってください。
  - 火災事故防止のため作業後には必ず、引出し受皿、周囲に飛散した粉じんの処理又、点検を行ってください。
- ◇ 本機の過負荷保護装置又は、配電用しゃ断器が作動した時は運転を停止してください。
  - スイッチ、元電源を切って原因を究明してください。尚、原因の究明、除去するまでは運転を再開しないでください。
- ◇ 使用周波数を確認してください。
  - 50Hz、60Hzそれぞれ専用となっておりますので銘板に記入されている周波数でご使用ください。
- ◇ 異電圧仕様製品のインバータ使用について
  - 300V以上級のモータ仕様ではインバータで駆動したときに発生するサージ電圧がモータの絶縁に影響を与え、損傷する恐れがありますのでインバータを使用しないでください。
- ◇ 構成部品の取り付けは確実に行ってください。
  - 取り付けが不完全ですと、エアリークして、ファンモータが過負荷となり焼損の恐れがあります。
- ◇ 本取扱説明書は日本国内標準仕様(单相100V、三相200V)で作成しておりますので、特注品仕様(異電圧を含む)においては別途お問い合わせください。

# 1.概要

お買い上げ頂きました淀川電機の集じん装置付バフグラインダがお客様のご使用目的に適しておりますか、ご確認ください。

## (1)現品の確認

- ◎本体に取り付けてある銘板に記入されている型式、電圧、周波数等がご注文品に間違いありませんか。
  - ◎梱包には万全をつくしておりますが、輸送中の衝撃、振動等による破損箇所がありませんか。
  - ◎万一異常がございましたら、すぐにお買い求めの販売店へご連絡ください。
- 付属品:調整用工具等(1set)

## (2)主な用途

各種の研磨・仕上げ作業など。

## (3)主な仕様

型 式		FB-8S		FB-8T		FB-10T		FB-10TH		FB-12T		FB-12TH	
電 源 電 圧 (V)		単相 100				三相 200				三相 200			
周 波 数 (Hz)		50	60	50	60	50	60	50	60	50	60	50	60
全消費電流 (A)		13.8	12.7	4.0	3.7	7.5	7.1	7.2	7.0	10.4	10.0	10.0	9.7
バフグラインダ	バフ寸法 (mm) 外径×厚さ×穴径	φ 205×35t×φ 15.88				φ 255×38t×φ 19.05				φ 305×44t×φ 25.40			
	バフ最高周速度(m/min)	2320				1450				2890			
	無負荷回転数 (rpm)	3000	3600	3000	3600	1500	1800	3000	3600	1500	1800	3000	3600
	出 力 (W)	400				750				1500			
	電 流 (A)	6.8	6.2	2.0	1.8	3.9	3.6	3.6	3.5	6.8	6.5	6.4	6.2
	定 格 (min)	30											
集じん装置	集じん方法	成形カセットフィルター方式											
	風 量 (m <sup>3</sup> /min)	9.5	11	9.5	11	18.5	19	18.5	19	18.5	19	18.5	19
	出 力 (W)	400				750				750			
	電 流 (A)	7.0	6.5	2.0	1.9	3.6	3.5	3.6	3.5	3.6	3.5	3.6	3.5
	集じん容量 (ℓ)	5.1				8.2				8.2			
質 量 (kg)	98				129				151				

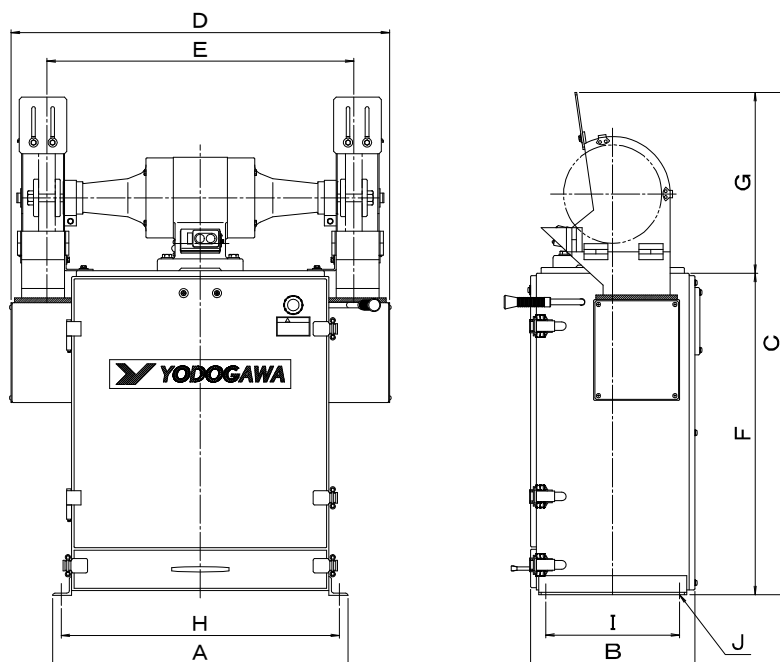
### ⚠注意

本仕様表は標準についての仕様となっておりますので本仕様表と異なる(異電圧等)場合の機種詳細についてのご質問の場合はお問い合わせください。

(注)

- 本仕様は1φ×100V、3φ×200Vを基本に作成しておりますので、異電圧及び特注品仕様においては別途お問い合わせください。
- 省エネルギーの為、50Hz、60Hzそれぞれ専用品となっております。
- 性能の向上、改良の為、予告なく仕様・寸法等を変更させていただく事がございますのでご了承ください。

## (4)外形寸法図



型 式	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
FB-8S FB-8T	620	344	1047	795	644	682	365	584	280	4-φ14
FB-10T FB-10TH	700	444	1111	962	802	702	409	656	350	4-φ14
FB-12T FB-12TH	700	444	1140	1072	918	702	438	656	350	4-φ14

(単位:mm)

- 本外形寸法図は標準品仕様で作成しておりますので、特注品仕様においては別途お問合せください。  
また、変化寸法図となっておりますので、機種別の詳細についてご質問がございましたらお問合せください。

## 2. 据え付け

長期間にわたり安全作業が行えるよう、以下の項目についてお守りください。  
なお、作業においては、専門知識のある人が責任をもって行うようにしてください。

### (1) 設置場所

#### ◇設置場所

屋内で風雨や直射日光にさらされない所としてください。

また、本機は背面が排気口となっていますので、壁面等に密着させますと吐出しが制限されます。本機の背面は壁面等から10cm以上離して据え付けてください。

#### ◇周囲温度・湿度

温度は、-10℃以上40℃以下。湿度は80%以下でご使用ください。

### ⚠ 注意

直接高温・多湿の場所にさらしますとモータの焼損・故障の恐れがあります。

#### ◇雰囲気

腐食性ガスや可燃性・爆発性ガスを取り扱う場所では運転できません。

また風通しが良く、ホコリの少ない雰囲気でご使用ください。

#### ◇保守スペース

保守・点検等のスペースを確保してください。

特に、日常の手入れに必要な集じん機前面やシェイキング作業に必要なスペースの確保をしてください。

### (2) 設置方法

本機は水平になるように、凹凸のない平坦な面にて、コンクリートや丈夫な鉄骨など堅固な基礎の上に必ずアンカーボルト(基礎ボルト)で固定してください。

### ⚠ 警告

製品の質量(重さ)を知ってください。設置・移動の際には指、足や身体のかなる部分も製品の下には入れないでください。又、本機の重心は上の方にあります。設置・移動の際には転倒等に十分注意を払ってください。

### (3) 電源の配線

◇本機の電源仕様が供給電源に合致しているかを確認してください。

モータの単相運転(三相タイプ)又は過負荷防止のため、配線用しゃ断器(電動機用)をご使用ください。その場合必ずバルトグラインダと集じん装置の合計電流値が設定電流の適用範囲のものを使用してください。また、漏電しゃ断器なども設置することをお奨めします。

◇継ぎコードを使用して電源より離れた場所で使用される場合は、継ぎコードの芯線が細いと電圧が低下し始動が困難となり、十分な能力を発揮できませんので必ず芯線の太いものをご使用ください。

#### ◇単相タイプ

プラグ付きコードとなっていますので、コンセント(100V)へ確実に差し込んでください。単相型ですので、常に正回転となります。

#### ◇三相タイプ

付属のキャプタイヤーコード4芯中緑色線を除く3本(緑色線はアース用です)を電源に接続してください。  
3本のリード線の接続の組み合わせによっては正逆どちらにも回転しますので、最初は任意の組み合わせによる接続を行い、後に示す回転方向の確認を行ってください。

### 警告

感電事故防止のため結線作業時には必ず元電源を切ってください。  
また、誤って電源が入らない元電源に「投入禁止」の札を付け電源の管理に十分注意を払ってください。

漏電・感電・火災事故防止のため、配線は電気設備技術基準・内線規定に従って施工してください。

## (4)アースの取り付け

アースの接続を確実に行ってください。電気設備基準でもアースの取り付けは義務付けられています。

#### ◇単相タイプ

アース端子は、集じん装置の側面に設けてありますからアースの接続を確実に行ってください。

#### ◇三相タイプ

電源キャプタイヤーコード4芯中緑線がアース線です。アースの接続を確実に行ってください。

### 警告

アースは電気設備基準に従って施工してください。

## (5)回転方向の確認

#### ◇単相タイプ

一定回転方向ですから、何時でも正常回転します。

#### ◇三相タイプ

三本のリード線の接続の組み合わせによっては、正逆どちらにも回転しますから、電源の結線が終わりましたらバフグラインダの集じんカバーに表示してある回転方向(矢印方向が正回転)をバフにより確かめてください。

バフグラインダの回転方向が正回転になると集じん装置の方も正回転となります。

尚、逆回転することも考慮して、正回転であることを確認するまでは長くモータを回さないで短い時間にスイッチのON、OFF動作を行ってください。

逆回転のときは、電源コードの3線中のうちいずれかの2線を互いに入れ替えてください。これにより回転方向が変更できます。

回転方向を確認した後は、電源の接続部の処置を確実に行ってください。



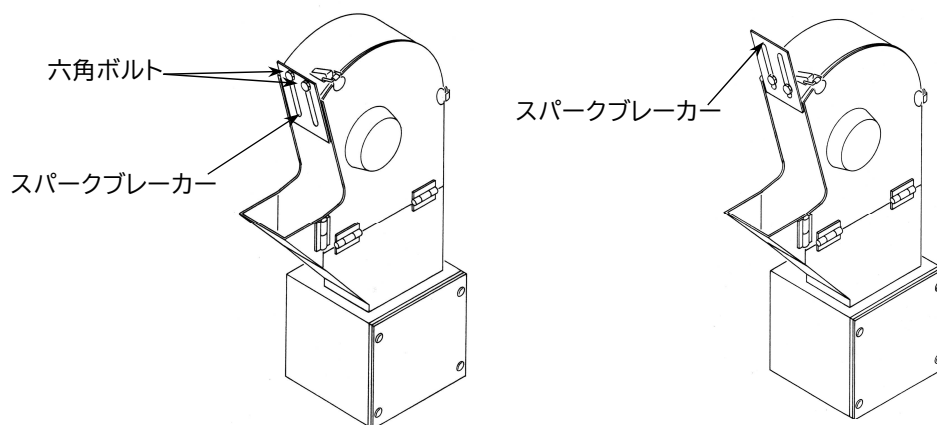
## 警告

逆回転での使用は禁止。

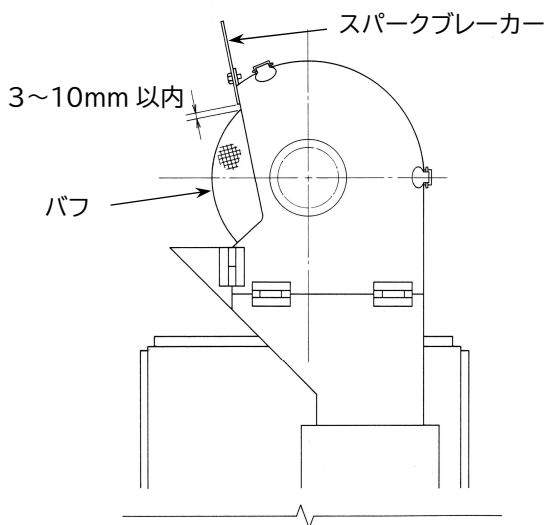
- バフ固定用ナット、ファン取り付け用ナットが緩み危険です。  
(正回転では、ナットが締まるようになっています。)
- 回転方向の確認には、指や物での接触による確認は危険ですので、絶対に行わないでください。

### (6) スパークブレーカーの取り付け

スパークブレーカーはバフの装着を行っていませんので、取り付け位置が適正ではありません。バフの取り付けを行う際、スパークブレーカーを取り付けている六角ボルトを緩め、スパークブレーカーを上押し上げ緩めた六角ボルトを締め、仮止めを行ってください。



バフの取り付けを行った後、スパークブレーカーの調整を行います。六角ボルトを緩め、スパークブレーカーとバフのすきまを3~10mm 以内に調整し、六角ボルトを締めてください。



調整には付属の工具をご  
使用ください。

### 3. 構成部品および機能

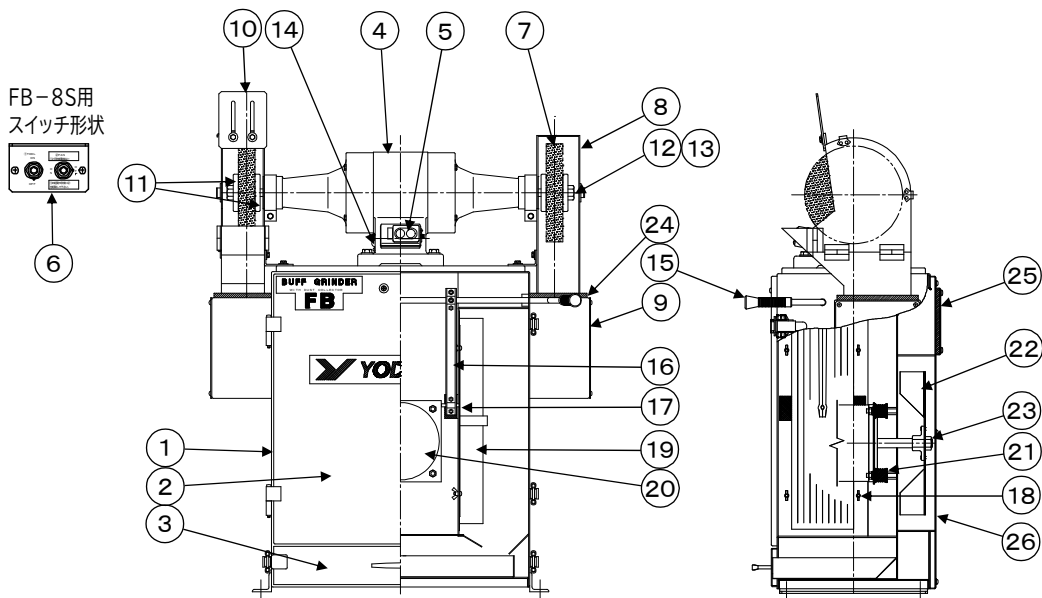
集じん装置付バフグラインダのそれぞれの構成部品および機能を把握していただき、安全運転および安全作業が行えるようにしてください。



**警告**

構成部品の取り外しや改造での使用は危険ですので絶対行わないでください。

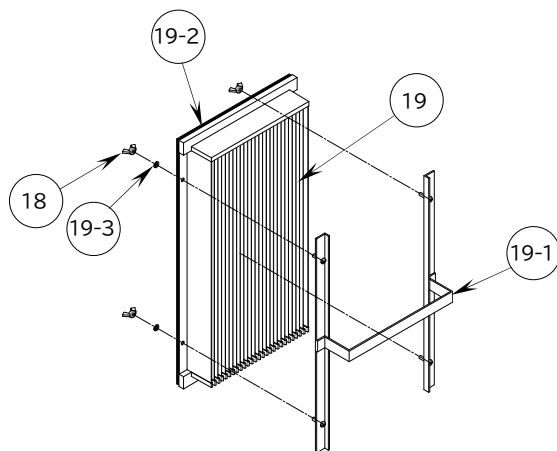
#### (1)各部の名称



No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称
1	集じん装置本体	10	スパークブレーカー	19	カセットフィルター
2	前扉	11	フランジ	20	ファンモータ
3	引出し受皿	12	バフ固定用ナット	21	防振ゴム
4	バフグラインダ本体	13	軸	22	ファン
5	操作用スイッチ	14	電源コード	23	ファン固定用ナット
6	FB-8S用スイッチ	15	シェイキングハンドル	24	防じん当てゴム
7	バフ	16	シェイキングバー	25	後部フィルター
8	集じんカバー	17	シェイキングチップ	26	後ふた
9	集じんボックス	18	脱着蝶ナット		

◇フィルターの名称

品番	名称	使用数量
18	脱着蝶ナット	4ヶ
19	カセットフィルター	1ヶ
19-1	フィルター押え	1ヶ
19-2	フィルター用パッキン	1ヶ
19-3	平座金	4ヶ



(1)集じん装置本体

バフグラインダで研磨作業を行われる時に発生する粉じんを取り除く装置です。

フィルター部、ファン部、モータ部、引出し受皿部、排出部で構成されており1つのケーシングに収められています。

(2)前扉

フィルターの脱着を行う為の取り出し口です。

蝶番とパッチン錠による取り付けとなっています。

(3)引出し受皿

捕集された粉じんおよびシェイキングによるカセットフィルターから払い落とされた粉じんが回収される受皿です。引出しを取り出すことによって、粉じん処理を行いません。

**⚠ 注意**

火災事故防止のため火花等が発生した作業の後には必ず粉じんの確認、点検を行ってから作業の終了としてください。

(4)バフグラインダ本体

バフを回転させる為の駆動部分です。

FB-8Sの機種にはモータ内部に過負荷保護装置のサーマルプロテクターが内蔵されています。(但し、単相100Vの日本標準仕様のみ内蔵)

**⚠ 警告**

サーマルプロテクターは、モータが過負荷運転となった時、モータの内部温度が上がると(約120℃前後)自動的に働いて運転を停止します。また、停止後モータ内部温度が下がると(約80℃前後)自動復帰します。サーマルプロテクターが自動復帰し運転が自動的に再開されますから、本機への電源は必ず切ってください。  
また、モータが過負荷運転となった原因を究明・除去するまでは、運転を再開させないでください。

(5) 操作用スイッチ(FB-8Sは除く)

集じん装置およびバフグラインダモータの電源を同時に入切させるためのものです。

操作は簡単な押しボタン構造です。操作は必ず手で行い、加工物などの物でたたいたり、あるいは突いたりしてスイッチを入切しないでください。

(6) FB-8S用スイッチ

FB-8Sタイプのみバフグラインダ用と集じん装置用の2つの専用スイッチに分かれます。

電源を入れる場合は、①のバフグラインダモータ部(TOOL)をON(スイッチレバーを上倒す)とし、5秒後に②の集じん装置部(FAN)をON(スイッチレバーを左倒す)としてください。電源を切る場合は、入れる時と逆の手順としてください。

 注意

- 同時起動の禁止。(2つのスイッチを同時に入れないでください。) 起動電流の関係で電源系統のヒューズ、ブレーカー等に支障をきたす場合があります。
- 5秒後とは、バフグラインダモータを起動して全回転になるまでのおおよその時間です。必ずスイッチは①バフグラインダモータ→②集じん装置の順に入れてください。(逆にしますと、集じん部ファンの起動時間が異なる為支障をきたす場合があります。)

(7) バフ

研磨作業においては、被研磨材料に応じたバフを選ぶことが能率的な作業と美しい研磨面を得る為にも最も大切なことであります。

(8) 集じんカバー

研磨作業中発生する粉じん、火花を効率よく捕集するためのカバーです。

また、作業者が回転中のバフに接触して負傷するのを防ぐ役目を持っています。

バフ等の消耗品の交換の際には集じんカバーの止め金具を外して脱着を行ってください。

 警告

集じんカバーの取り外しや改造は、粉じんの障害防止規則に定められている集じん装置の能力に影響が発生します。又、集じん装置の過負荷運転ともなりますので絶対に行わないでください。

(9) 集じんボックス

粗い粉じんを捕集するためのボックスです。集じんボックスの点検板を外すことによりボックス内部の粉じん処理を行います。

(10) スパークブレーカー

研磨作業中に発生する粉じん飛散をしゃ断します。

 警告

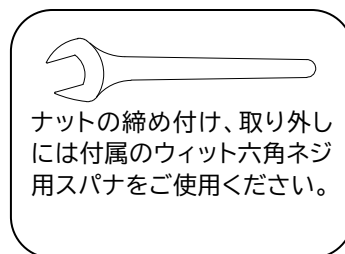
正常な取り付け位置とは、バフとスパークブレーカーのすきまが3~10mm 以内です。(※調整には付属の工具をご使用ください。)

#### (11) フランジ

バフをグラインダ(軸)へ取り付けるためのものです。軸に固定される側を「固定側フランジ」、その反対側を「移動側フランジ」と呼びます。

#### (12) バフ固定用ナット

バフフランジを軸に締め付けるためのものです。  
ナットのネジは正回転で締まるようになっています。  
右側のナットは右ネジ、左側のナットは左ネジとなっています。  
(※ナットの締め付け、取り外しには付属のウィット六角ネジ用スパナをご使用ください。)



#### (13) 軸

バフを取り付けて回転させるためのものです。軸端には締め付け用のネジが加工してあります。右側のネジは右ネジ、左側のネジは左ネジとなっています。

#### (14) 電源コード

単相100V仕様は、キャプタイヤーコード及び差し込みプラグが付属されています。又、三相200V仕様は、4芯のキャプタイヤーコードが付属されており、4芯中緑色線がアース用となります。

#### (15) シェイキングハンドル

シェイキング操作を行うためのものです。

#### (16) シェイキングバー

シェイキングハンドルからの動きをフィルターへ伝達するためのものです。先端にはシェイキングチップが取り付けられています。

#### (17) シェイキングチップ

フィルターに接触して動くことにより、粉じんの払い落としを行います。  
シェイキングチップは消耗品ですので、シェイキング効果が低下してきた時は新品と交換してください。

#### (18) 脱着蝶ナット

フィルタートを集じん装置本体に固定させるためのものです。

#### (19) カセットフィルター

粉じんを捕集するフィルターです。成形不織布による成形品となっており、集じん装置本体の左右に各1個取り付けられています。

#### (20) ファンモータ

ファンを回転させるための駆動部分です。  
FB-8Sの機種には、モータ内部に過負荷保護装置のサーマルプロテクターが内蔵されています。(但し、単相100Vの日本標準仕様のみ内蔵)

## 警告

サーマルプロテクターはモータが過負荷運転となった時、モータ内部温度が上がると(約120℃前後)自動的に働いて運転を停止します。また、停止後モータ内部温度が下がると(約80℃前後)自動復帰します。

サーマルプロテクターが働いて運転停止となった場合、そのまま放置されますと、サーマルプロテクターが自動復帰し運転が自動的に再開されますから本機の電源は必ず切ってください。(保護装置による電源のしゃ断が望ましいです。)また、モータが過負荷運転となった原因を究明・除去するまでは、運転を再開させないでください。

### (21)防振ゴム

ファンモータ及びファンから発生する振動をできる限り抑えバフグラインダ部に伝えないためのものです。

### (22)ファン

気体に速度と圧力を発生させ、集じん装置として吸引力を得るためのものです。

### (23)ファン固定用ナット

ファンを軸に固定させるためのものです。バフ固定用ナットのネジは右ネジでファンが正回転で締まるようになっています。

### (24)防じん当てゴム

集じんカバーと集じん装置の接続部に使用しています。集じん装置の能力を無駄なく発揮させるためのもので、エアリークを防ぎます。

### (25)後部フィルター

本機の最終フィルターとして後ふたに設置されています。

### (26)後ふた

ファンが収納されている部分のふたです。

## 警告

後ふたを取り外しますと内部には、ファンがありますのでファン点検時等においては、ファンの回転が完全に停止したことを確認してください。また、点検時等に誤ってファンを回転させぬように作業時においては、電源の管理に十分注意を払ってください。ファンが回転していると物が吸引されたり接触による事故が発生し危険です。

## 4. 運転およびバフの取り付け(交換)

運転を始める前に、本機を最初にご使用される時にはバフが装着されておりませんので、最初にバフの取り付けを行ってください。

### 4-1. バフの取り付け(交換)

#### (1) バフの適合確認

- ①被研磨材料に応じた適当なバフを専門業者と相談の上選定してください。
- ②バフ寸法は、仕様寸法範囲内で使用してください。

型 式	FB-8S	FB-8T	FB-10T	FB-10TH	FB-12T	FB-12TH
バフ寸法 外径×厚さ×内径(mm)	205φ×35t×15.88φ	255φ×38t×19.05φ	255φ×38t×19.05φ	305φ×44t×25.40φ	305φ×44t×25.40φ	305φ×44t×25.40φ
無負荷回転数50/60Hz(rpm)	3000/3600	1500/1800	3000/3600	1500/1800	3000/3600	3000/3600

#### 警告

- バフ寸法は、仕様寸法範囲内としてください。
- バフ専用機ですので、といしの取り付けは禁止。

#### (2) バフの取り付け

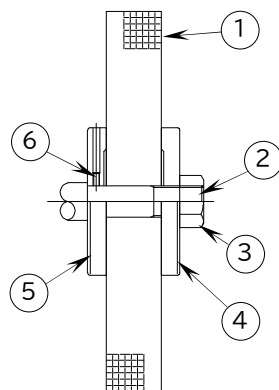
取り付け方法が不完全であると、研磨性能が悪くなったりなど、種々のトラブルのもとになりますので、次の項目に注意して行ってください。

- ①初めてお使いになる場合は、バフが取り付けいていませんので、集じんカバーを外し、スパークブレーカーを取り付けているボルトを緩め、スパークブレーカーを上にはずらし、緩めたボルトを締めてください。次に軸からバフ固定用ナット、フランジ(移動側)を外してください。  
固定フランジを取り外す場合は、軸に固定するためのネジを緩めてください。

(注) ネジ部には緩み止め液を施していますので、ネジを緩める際にはネジの破損等にご注意ください。

ネジは2箇所、すりわり付き止ネジです。

- (注) 本機に使用している止めネジ以外の止めネジは使用しないでください。軸に傷が付き固定フランジが取り外せなくなります。(マイナスドライバーを使用します。)



品番	名 称
1	バフ
2	軸
3	バフ固定用ナット
4	移動側フランジ
5	固定フランジ
6	すりわり付き止ネジ

型 式	FB-8S	FB-8T	FB-10T	FB-10TH	FB-12T	FB-12TH
ねじの呼び	M5×15			M5×20		

## 警告

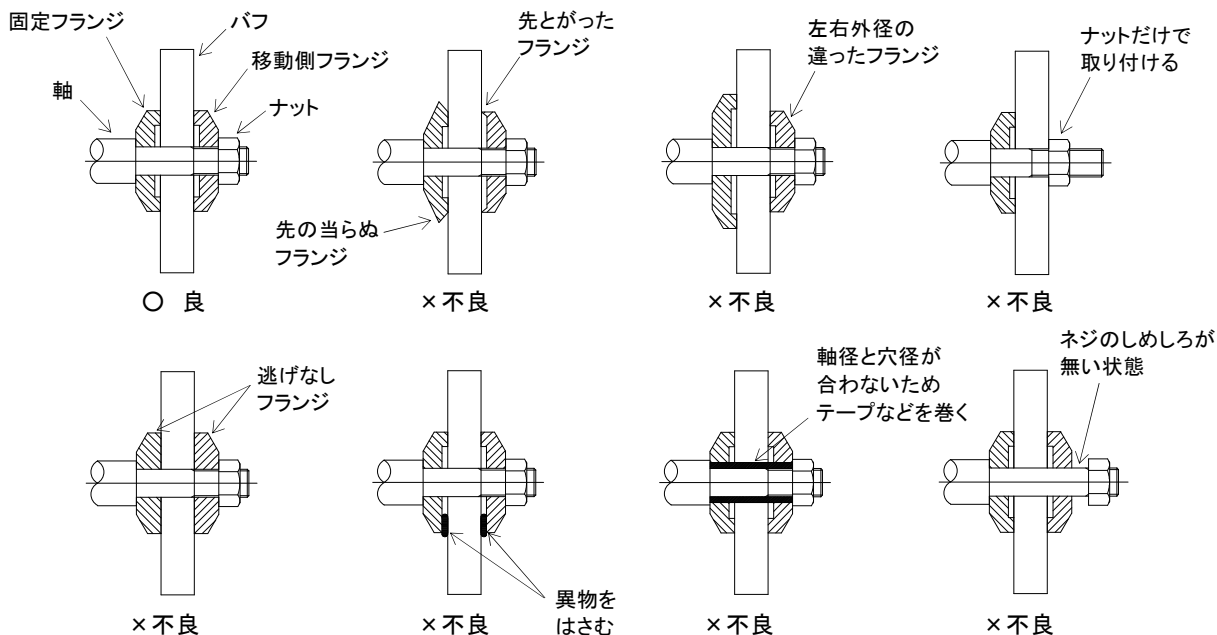
- 固定フランジは、軸に対して必ず固定して取り付けてください。
- 固定されないと、バフの締め付けが正常に行われなくなり危険です。
- 固定フランジを取り外した場合には、取り付けネジが確実に締まっていることを確認してください。

- ②取り付けは、上記と逆の手順で行いますが、取り付けを行う前に軸、フランジ及びバフのはめ合い部にごみ、油、さびなどの異物がなく、軸端のネジは、はめ合いがスムーズで軸のフレがないことを確認してください。
- ③フランジ(移動側、固定側)は、当り面が互いに平行な平面で、外側にそりがなく、逃げ部の内部が凸状になっていないことを確認してください。
- 固定フランジは、ネジにより軸へ確実に固定してください。
- また、移動側フランジは、軸とのはめ合いがスムーズであることを確認してください。

## 警告

- 付属のフランジを必ず使用してください。
- フランジの寸法や材質は、バフを締め付けるのにあたって重要なものです。
  - 代用品等の使用は、禁止です。

- ④取り付けは、固定フランジ、バフ、移動側フランジ、バフ固定用ナットの順に行いますが、とくにバフ軸穴と軸とのはめ合いに注意してください。軸より穴径の大きいバフの取り付けや逆に穴径の小さいバフを無理にこじったり、加工したりして取り付けないでください。



- ⑤バフ固定用ナットを仮締めしてから、バフを手で回転させて心ぶれ(バフの外周と穴の同心度)を見てください。



次に、面ぶれ(バフとフランジの接触状態)を見てください。

正規の厚さより薄いバフを取り付ける場合にはナットの締めしろを確認してください。

バフ固定用ナットの締めしろがないと、バフの取り付けが不完全になりますので必ず確認してください。

尚、取り付け得る最大の厚さをこえるバフは絶対に取り付けないでください。

### 警告

バフを回転させる時は、移動側フランジあるいはバフ固定用ナットの部分を手で回すようにしてください。バフの外周部を手で回すと、スパークブレーカー、集じんカバー等で手や指をはさむ恐れがありますので注意してください。また、回転にはモータの動力は絶対に使用しないでください。バフ固定用ナットが仮締めであるために危険です。

⑥フランジの締め付けは、モータ軸端のネジとバフ固定用ナットにより行います。バフ固定用ナットの寸法は下記表となります。

(※ナットの締め付け、取り外しには付属のウィット六角ネジ用スパナをご使用ください。)

型 式	FB-8S	FB-8T	FB-10T	FB-10TH	FB-12T	FB-12TH
バフ外径(mmφ)	205		255		305	
ねじの呼び	W5/8		W3/4		W1	
スパナ対辺(mm)	26		32		41	

### 警告

フランジの締め付け力は、バフの駆動抵抗と研磨抵抗に対してすべりを起こさないだけの力でよく、これ以上の力はバフやフランジにとって有害となります。スパナにパイプをはめて締め付けたり、タガネとハンマでナットを締め付けるなどの明らかな締め過ぎは絶対に行わないでください。ネジは正回転で締めるようになっています。

(※ナットの締め付け、取り外しには付属のウィット六角ネジ用スパナをご使用ください。)

右側といしのバフ固定用ナットは右ネジ(時計回りで締まる)

左側といしのバフ固定用ナットは左ネジ(反時計回りで締まる)

となっていますので方向に注意してください。

⑦集じんカバーをもとの位置に戻す。

⑧スパークブレーカーの調整を行います。スパークブレーカーと、バフとのすきまは、3~10mm以内です。

(※調整には付属の工具をご使用ください。)

## (3) 試運転

バフ取り付け後(交換)の試運転は、次の要領で行ってください。

①指定保護具(防じん眼鏡等)の完全着用を励行してください。

②スイッチを入れる前には作業位置に注意し、バフの正面は避けてください。

③空転時間は3分以上とし、この間に振動または、異常音がないかを確認してください。

④異常があった場合には、スイッチを切るとともに直ちにその原因を究明するようにしてください。

⑤空転して異常がなければ、ためし削りをしてください。

この時、安全性と併せて研磨性もチェックしてください。

## 4-2.運転

### 警告

粉じんの飛散防止のため、集じんカバーを取り外した状態では絶対に使用しないでください。また、スパークブレーカーのすきまは、バフより3～10mm 以内に調整してください。（※調整には付属の工具をご使用ください。）

インバータによる増速運転は絶対にしないでください。  
バフの最高使用周速度が超えるためバフグラインダ本体の強度面で危険です。また、ファンモータが過負荷となり、回転体などの強度面で危険ですので絶対にしないでください。

回転しているバフに指や手を触れることは危険ですので、絶対にしないでください。

### 注意

本機の定格運転時間は30分です。また、全負荷（定格電流値）以上での連続運転は行わないでください。モータの焼損・故障の原因となります。

- ◇運転を始める前に据え付けの各項目が守られているかを確認してください。
- ◇身につけているものが巻き込まれることのない様に、身だしなみを整えてください。  
そして、保護眼鏡の着用、集じんカバー、スパークブレーカーの調整を確実に行ってください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ◇スイッチを入れる時には、バフの正面に立たないでください。
- ◇バフを回転駆動後は、研磨を始める前に、1分間以上の試運転（空転）をさせてください。  
バフを新しいものに取り替えた時の試運転は3分間以上としてください。  
その時にバフのアンバランスや異常振動又は異常音の有無を点検してください。
- ◇試運転して異常がなければ、ためし削りをしてください。  
この時、安全性と併せて研磨性もチェックしてください。
- ◇研磨作業中は、バフに衝撃を与えないよう、とくに誤って被加工物をバフに強く打ち当てることのないように注意してください。
- ◇作業終了時には、必ず本機および作業場の確認・点検を行ってください。  
とくに、火花等が発生した作業の後には、火災防止のため必ず確認・点検を行ってください。
- ◇集じん装置の前扉、後ふた、または引出し受皿の各タカバー等が完全に締まっているか調べてください。  
不完全な時や、開放のままでは吸引力が低下したり、ファンモータの故障にもなりますので必ず確認してください。

### 4-3.スイッチについて

#### ⚠注意

- 同時起動の禁止。(2つのスイッチを同時に入れしないでください。)  
起動電流の関係で電源系統のヒューズ、ブレーカー等に支障をきたす場合があります。
- 5秒後とは、バフグライндаモータを起動して全回転になるまでのおおよその時間です。  
必ずスイッチは①バフグライндаモータ→②集じん装置の順に入れてください。  
(逆にしますと、集じん部ファンの起動時間が異なる為支障をきたす場合があります。)

過負荷保護装置(サーマルプロテクター)、配電用しゃ断器が作動した時には、本機のスイッチをOFFにし、元電源を切って原因を究明してください。尚、原因を究明、除去するまでは運転を再開させないでください。

◇集じん装置、およびバフグライндаのモータ電源を同時に入切させるためのものです。(FB-8Sは除く)  
操作は簡単な押しボタン構造です。操作は必ず手で行い、加工物などの物でたたいたり、あるいは突いたりしてスイッチを入切しないでください。

◇FB-8S型

バフグライнда用のスイッチと集じん装置用のスイッチをそれぞれ専用にて設けています。左側のスイッチがバフグライнда用です。スイッチレバーを上へ倒すと運転、下へ倒すと停止します。そして右側のスイッチが集じん装置用です。スイッチレバーを左へ倒すと運転、右へ倒すと停止します。

バフグライндаと集じん装置を運転させる時は、バフグライнда用スイッチをONにした後、5秒以上待つてから集じん装置用スイッチをONにしてください。

### 4-4.運転の条件

#### ⚠注意

本機の定格運転時間は30分です。また、全負荷(定格電流値)以上での連続運転は行わないでください。モータの焼損・故障の原因となります。

本機は、50Hz・60Hzそれぞれ専用となっておりますので、銘板に記入されている周波数でご使用ください。

50Hz用を60Hz地域で使用すると過負荷となり、モータ焼損の恐れがあります。また、60Hz用を50Hz地域で使用すると、局所排気で定められている制御風速が得られず、性能にかかわる問題発生の原因にもなります。

◇電源電圧の許容変動範囲は±10%以内としてください。

◇周波数は銘板に記入されている定格周波数とってください。

## 4-5.異常な場合の処理



**警告**

異常内容によっては、お客様による対策が不可能な場合がありますので分解、組立ては行わないでください。

異常時には必ず電源を切ってから、その原因究明を行ってください。

異常内容		原因・点検	対策
バフ グライ ンダ	モータが回転しない	電源接続不備	正常に配線
		過負荷保護装置の作動 (FB-8S)	電源電圧は±10%以内
			欠相は正常に配線
		過負荷作業の確認 (定格は全負荷で30分)	
	モータ焼損	新品と取り替え修理	
異常音	軸受け	新品と取り替え修理	
集 じん 装 置	モータが回転しない	電源接続不備	正常に配線
		過負荷保護装置の作動 (FB-8S)	電源電圧は±10%以内
			欠相は正常に配線
			空気漏れのないように 各々のカバーを完全に締める 各々のフィルターを点検する
		モータ焼損	新品と取り替え修理
	異常音及び振動	ファンの不釣り合い	新品と取り替え修理
		軸受け	新品と取り替え修理
	粉じんが排出される	フィルターの破損、目詰まり	新品と取り替え修理
		シールパッキンの点検	シール状態の点検または取り替え
		各々のフィルターの取り付け不備	点検後、定位置にセットする
	シェイキングしても吸 引力が回復しない	フィルターの目詰まり	新品と取り替え修理
シェイキングチップの摩耗		新品と取り替え修理	

## 5. 保守・点検

### 5-1. 日常の手入れ

#### (1) シェイキング

ご使用中に吸引力の低下を感じた場合は、フィルターの目詰まりですから、操作用スイッチをOFFにし、吸引が完全に停止してから、シェイキングハンドルを前後に軽く止まるまで動かし(約10回)、粉じんの払い落としを行ってください。

**注記:** 運転中にシェイキング操作を行わないでください。捕集された微粉の吹き抜けが発生する恐れがあります。

また、シェイキング後は粉じんの処理を必ず行ってください。粉じん処理を行わずに運転を再開させる時はシェイキング操作後1分以上待ってからとしてください。この場合も捕集された微粉の吹き抜けが発生する恐れがあります。シェイキング操作は、粉じんの吸込量にもよりますが、1日に1回以上必ず行ってください。また、シェイキング操作後には粉じんの処理をされることをお奨めします。(払い落とし粉じんがフィルターへ再付着することを防止するため)

尚、定期的(2ヶ月に1回以上)にフィルターを取り出し、フィルターの表面をブラッシングされることをお奨めします。(フィルターの取り出しは、フィルターの交換の頁を参照ください。)

#### (2) 粉じんの処理

シェイキング操作後1分以上待ってから、左右のパッチン錠を外して引出し受皿を引き出して、溜った粉じんを処理してください。

粉じんは溜めておかず、早めに処理するようにし、また、集じん機内部にこぼれた粉じんも本体外にかき出してください。

運転再開の時には、左右のパッチン錠を完全に掛け、引出し受皿を確実に取り付けられた状態としてください。

#### 警告

粉じんは溜めておかず早めの処理をしてください。  
たとえ不燃性の粉じんであっても粒径・濃度・その他の条件により粉じんの燃焼・爆発の危険がありますので、すべての粉じんに対して注意を払ってください。

#### 注意

引出し受皿の取り付けが不完全ですと吸引力の低下や過負荷によるモータ焼損の恐れがありますので、取り付けは確実に行ってください。

## 5-2. フィルターの交換

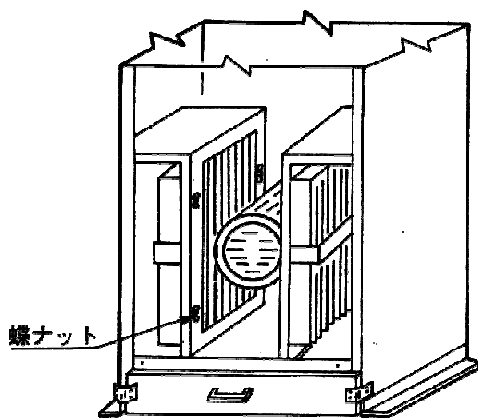
### (1) フィルター

フィルターが破損したり、長期間の使用で吸引力がシェイキング後も回復しなくなった場合は、次の順序でフィルターの交換を行なってください。通常はフィルターのみでの交換で十分です。(フィルターは販売店よりお取り寄せください。)

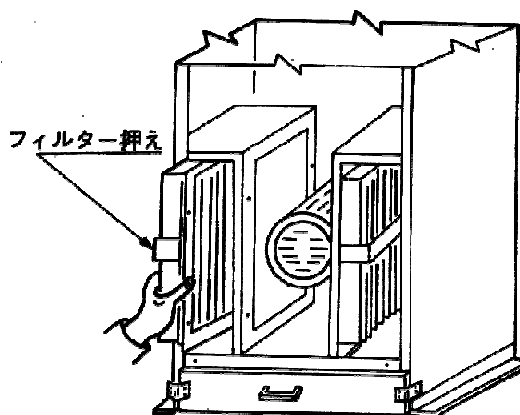
- ①前扉の2個のパッチン錠を外して前扉を開けてください。
- ②フィルターは1個ずつ図(I)のように取り付いています。
- ③蝶ナットを緩め(片側4ヶ)、蝶ナットとワッシャーを取り外します。
- ④フィルター押えとフィルターをセット状態のまま図(II)のように静かに外部へ引き出します。
- ⑤フィルター押えとフィルターを分離させます。
- ⑥フィルターの取付けは、上記と逆の手順で作業を行ってください。

#### ▲注意

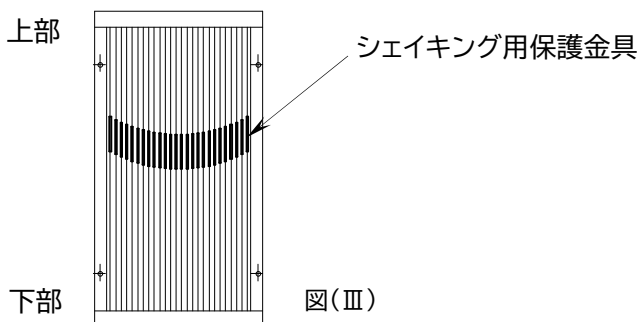
カセットフィルターの取付け方向に注意してください。  
カセットフィルターはシェイキング用保護金具の形状が図(III)のようになるように上下方向を間違えないように取り付けてください。



図(I)



図(II)



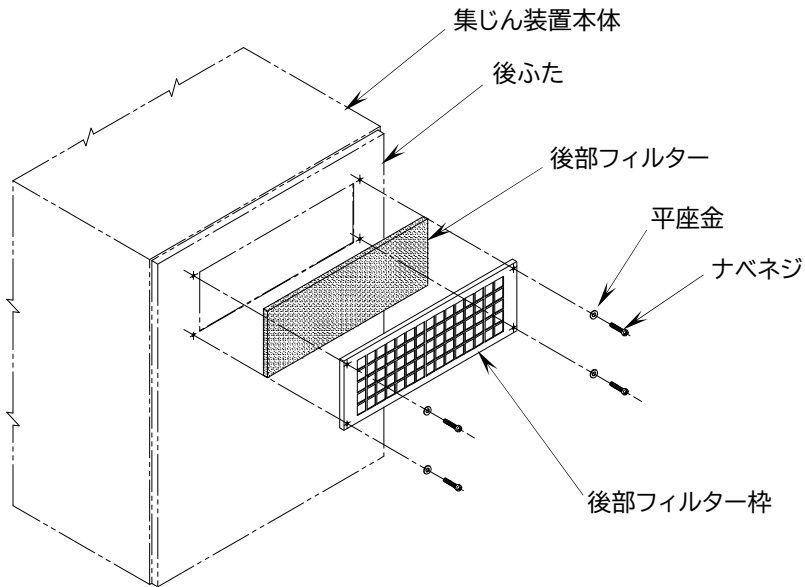
図(III)

## ⚠ 警告

交換時においては、ファン及びバフの回転が完全に停止したことを確認してください。また、交換時に誤ってファンを回転させぬように作業時においては、電源の管理に十分注意を払ってください。ファンが回転していると物が吸引されたり接触による事故が発生し危険です。また、バフが回転していると不意に触れた場合に危険です。

### (2)後部フィルター

後ふたの枠の中に後部フィルターが取り付けられていますので、4ヶ所のナベネジをゆるめ枠を外して後部フィルターを取り出し、適宜清掃をしてください。



## ⚠ 警告

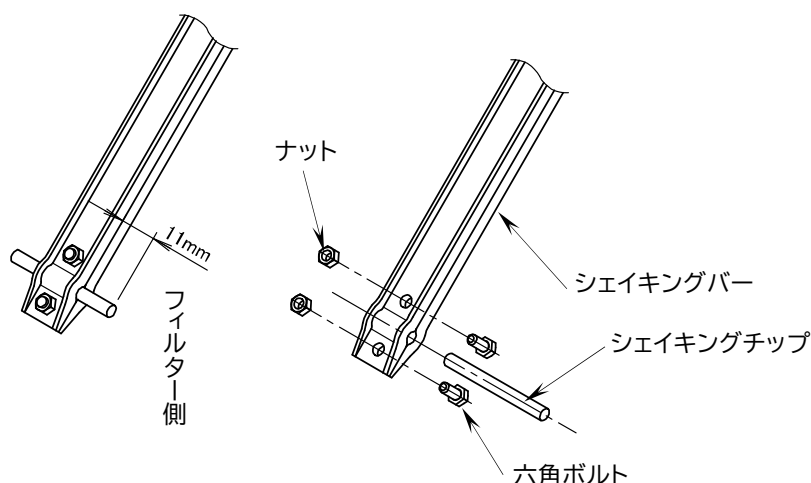
後部フィルターの取り外しにおいては、ファン及びバフグライндаの回転が完全に停止したことを確認してください。誤ってファン、ベルトグライндаを回転させぬように作業時においては、電源の管理に十分注意を払ってください。ファン・ベルトグライндаが回転していると、接触による事故が発生し危険です。

### 5-3. シェイキングチップの交換

シェイキングハンドルの作動力が軽くなり、シェイキング効果が低下してきた場合は、シェイキングチップの摩耗が考えられますので、次の順序で取り替えてください。

(シェイキングチップは販売店よりお取り寄せください。)

- ①前扉の2個のパッチン錠を外して前扉を開けて頂くとシェイキングバーが露出します。
- ②シェイキングバーの先に図のようにシェイキングチップをはさんでビス2本で締め付けてありますので、ビスを緩めてチップを引き抜いてください。
- ③交換チップの取り付けは、上記の逆の手順で行ってください。  
注記:チップの露出長はシェイキングバーからフィルター側へ11mm位となります。
- ④チップの取り替えが完了しましたら、前扉を閉めてパッチン錠を確実に掛けてください。



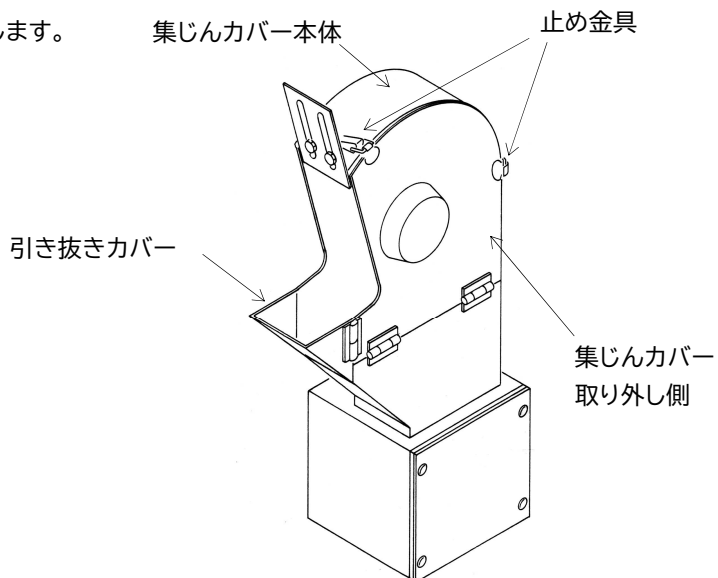
#### 警告

チップ交換時においては、ファン・バフの回転が完全に停止したことを確認してください。また、交換時に誤ってファン・バフを回転させぬように作業においては電源の管理に十分注意を払ってください。ファンが回転していると物が吸引されたり、接触による事故が発生し危険です。また、バフが回転していると不意に触れた場合に危険です。

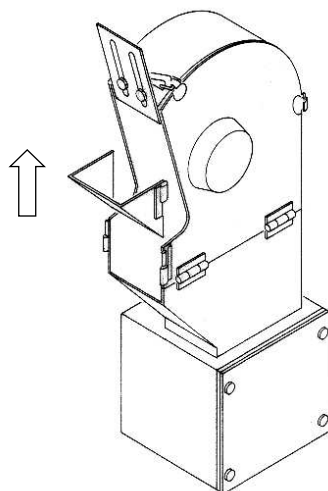


## 5-4. 集じんカバーの取り外し

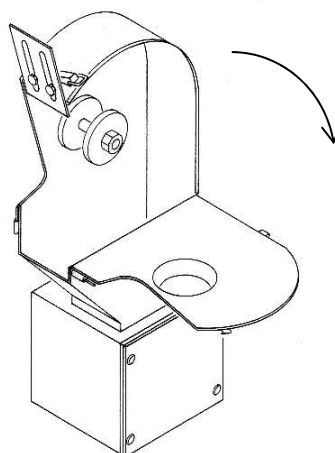
集じんカバーは下図の要領で取り外します。



①引き抜きカバーを上を持ち上げ取り外します。



②集じんカバー取り外し側を固定している止め金具を外し、側面に倒します。

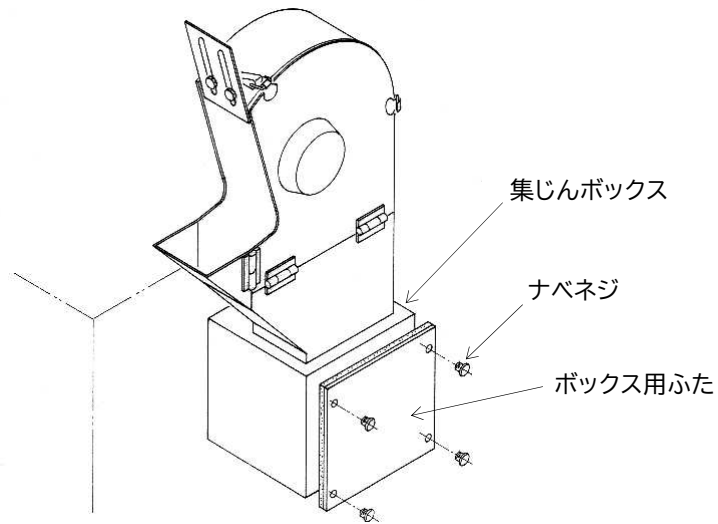


## ⚠ 警告

集じんカバーの取り外しや改造は、粉じん障害防止規則に定められている集じん装置の能力に影響が発生します。また、集じん装置の過負荷運転ともなりますので絶対に行わないでください。

### 5-5. 集じんボックスの点検

集じんボックス内には、粗い粉じんがたまるようになっておりますのでナベネジを緩めボックス用ふたを取り外し点検を行ってください。



### 5-6. 外装部のお手入れ

本機の外装部が汚れた場合は、水または水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取ってください。

## ⚠ 警告

本機に直接水等の液体をかけないでください。  
感電のおそれがあり危険です。

## ⚠ 注意

アルコールやベンゼン、シンナー等の溶剤を用いて外装部等を拭いたりしないでください。  
塗装がはがれたり、変色したり、構成部品を傷めたりするおそれがあります。

## 5-7. 定期的な点検

長期間安全に作業(運転)できるように定期的に休止して各部の点検を実施してください。

### (1)装置本体

◇本体部の摩耗、腐食および破損並びに粉じん等堆積の状態を点検してください。

### (2)バフグラインダ部

#### ①グラインダ本体

◇定格電圧は、電源電圧に適合していますか。

◇バフの回転方向は正しいですか。

◇アース(接地)は適正になされていますか。

◇コード、プラグ等に異常はないですか。

◇締め付け部に緩みはないですか。

◇異常な音や振動が生じていませんか。

※軸受けはシールド型のためグリースの補給の必要がありませんが長期間使用により損耗した場合は取り替え修理となります。

◇モータに異常な発熱が発生していませんか。

◇操作スイッチは確実に作動しますか。

#### ②バフ

◇寸法・規格に適合していますか。

◇加工材に対し、適正ですか。

◇回転方向は正しいですか。(矢印方向)

◇きずや欠損部分はありませんか。

◇目詰まりは発生していませんか。

◇摩耗しすぎていませんか。

#### ③フランジ(移動側、固定側)

◇当り面が互いに平行な平面でそり等の変形が生じていませんか。

◇逃げ部の内側が凸状になっていませんか。

◇固定側は、ビスにより軸に固定されていますか。

◇軸とのはめ合いはスムーズですか。

◇取り付け具以外の代用品を用いていませんか。

#### ④保護具等

◇作業時に防じん眼鏡の着用が行われていますか。

### (3)集じん装置部

- ◆粉じん漏れ、またはエアリークの発生がないかを点検してください。
- ◆ファンに異常な振動が発生していないか、及びその振動が増大していないかを点検してください。
- ◆ファンモータに異常な発熱がないかを点検してください。
- ◆軸受け部はシールド型のためグリースの補給は必要ありませんが、異常音が発生していないかを点検してください。  
万一、故障を起こしたり、長期使用により損耗した場合は取り替え修理となります。
- ◆フィルターの機能を低下させるような目詰まり、破損、劣化、損傷、しめり等がないか、また、取り付け状態におけるネジ、パッキン等の破損、欠落の有無を点検してください。
- ◆シェイキング装置の機能を低下させるような摩耗、腐食、破損、変形等がないかを点検してください。
- ◆シェイキングチップの摩耗、破損、欠落を点検してください。

## 6. 保証規定について

---

### 保証規定

下記に明示した期間、条件のもとに於いて無償修理を規定するものです。

※出張修理は致しておりません。弊社工場での修理となります。

#### 保証期間

お買い上げ日より1ヶ年とします。

#### 保証範囲

- 1) 保証期間内に本取扱説明書や注意・警告ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態において、本機を構成する部品に材料上、又は、製造上に起因する不具合が現れ、弊社がそれを認めた場合は、無償で当該部品の交換又は修理を致します。  
尚、故障に伴う機械の休止補償等、他の二次的損失の補償は含みません。
- 2) 保証期間内でも、下記事項に該当する場合は保証致しません。  
(イ)弊社に連絡なしに修理又は改造された場合、及びその修理又は改造が原因で誘発した故障。  
(ロ)弊社の「取扱説明書」に示す正しい使用又は保守又は整備をおこなわなかったことが原因で誘発した故障。  
(ハ)天災・過失・事故・故意あるいは第三者の加害による損傷及びそれが原因と認められる故障。  
(ニ)取扱説明書に記載した条件や、別途取り交わした条件以外で使用した場合。
- 3) 本保証規定は日本国内においてのみ有効です。
- 4) 正規代理店が販売したもの、もしくは正規販売ルートのもの以外は保証対象外になります。また、アフターフォローもできません。
- 5) 保証期間を過ぎた後は、修理可能な場合に有償でお引き受けいたします。

#### 特記事項

保証期間内外を問わず、又、使用国を問わず作業中に発生する火花等や集塵対象物等に起因する事故・火災等や弊社の取扱説明書に示す正しい使用等を行わなかったことに起因する事故・火災等は保証対象外です。又、それに伴う二次的損失に対しても補償外となります。





# PRODUCTS

---

- 電動送風機 ■ ■集塵装置付両頭グラインダ
- カートリッジフィルター集塵機 ■ ■集塵装置付バフグラインダ
- コンピュータ制御集塵機 ■ ■集塵装置付ベルトグラインダ
- 集塵装置付作業台 ■ ■両頭グラインダ
- エアブロー専用集塵作業台 ■ ■バフグラインダ
- 溶接ヒュームコレクター ■ ■ベルトグラインダ



## YODOGAWA

生産性を高める快適環境づくり

---

Partner For Clean Factory

株式会社 淀川電機製作所

<http://www.yodogawadenki.co.jp>

---

- 大阪営業所 〒561-0891大阪府豊中市走井2丁目1番8号  
TEL 06(6853)2621(代) ● FAX 06(6853)3155
- 東京営業所 〒168-0073東京都杉並区下高井戸4丁目3番1号  
TEL 03(3303)0700(代) ● FAX 03(3303)0824
- 名古屋営業所 〒466-0847名古屋市昭和区長池町3丁目34番3号-B  
TEL 052(852)8167(代) ● FAX 052(852)8169
- 福岡営業所 〒811-1253福岡県那珂川市仲2丁目1番16号  
TEL 092(953)0661(代) ● FAX 092(953)1806
- 本社・工場 〒561-0891大阪府豊中市走井2丁目1番8号  
TEL 06(6853)2621(代) ● FAX 06(6853)3155